

SIDE [侧面]

FRONT [前面]

■自ら新プラスキーパーに
対応した新型型式機と見られ
るスクランブルガンダム、その
関係者の監督により徹底的に現し
た前、側、背面にわざわざ各系の
シリアルアートが、単純にガンダム
を改修したものとは無く、そ
の全てがアーティザンで構成され
ている。各所にはクリアーパー
ツが組み込まれ、これらが粒子
の技術で駆使されるデバイスであ
ることは間違いないだろう。



[スクランブルガンダム]

巻頭スクープ！前回の南国取材では、新型バトルシステムの調整トラブルという残念な理由で少々マニアックすぎる内容になってしまったが、我々HH編集部はタダでは帰らない、現地に突然出現したという“謎”のガンダムタイプ情報を独自入手。関係者の証言を元に作製した再現度100%のスペシャル作例を皆様だけにお届けしよう。

Scramble!!



イーブンギルダーズ

Vol.21

BN-876

SCRAMBLE GUNDAM

1/144 SCALE PLASTIC KIT "HIGH GRADE+SCRATCH" BY ???

スクランブルの鼓動

RG 876 SCRAMBLE GUNDAM

スクラムの鼓動

高達飛行を可能にするフライモードへの可変機構も有していたといふ。ビームライフルを機体の上下間に挟み込むユニークな構成となっていた。シンプルな変形シーケンスで別形態への移行を成立させることは、優れた基本性能の証明だ。

編集部はこのスクラムガンダムが通常のガンプラとは一線を画した力を秘め、何とかこのクシティンによりその力を全開、もとすれば暴走のような形で発現させてしまったのではないか。そして8年前のあの事故のように、その場に居合わせた人間達が恥なし、最高の絆を未然に苏いた……といふ結論に達した。ニールセラボによる公の発表が行われていない以上、あくまで推測でしか無いのだが、歌詞を受ける動きガンブルビルダー達の情熱で、轟くらけのモデルを誇らしい表示する彼らの情熱は、この推測を確信に変えてくれるものであったことを最後に記しておく。いってご、ガンプラは嘘つかないのだ。

